

あきは 区役所だより

里山と水に囲まれて 花と緑あふれる 笑顔咲きそろうまち

2026年(令和8年)

2月15日

第453号

毎月第1・3日曜日発行

区の人口

人 口: 73,172 人 (-67)
男: 35,239 人 (-41)
女: 37,933 人 (-26)
世帯数: 31,181 世帯 (+4)
令和8年1月末現在 (カッコ内は前月比、住民基本台帳による)

編集・発行 新潟市秋葉区役所 (制作:地域総務課) 〒956-8601 新潟市秋葉区程島2009番地

電話 0250-23-1000 (代表)

秋葉区 未来ビジョン

令和7年度 アクションプランの実践

秋葉区では、令和5年度にコミュニティ協議会(以下、コミ協)ごとに「コミュニティ未来ビジョン」を作成しました。これは、地域の独自性を生かし、5年先、10年先の未来に向けて持続可能で活気ある地域社会の実現を目指す行動計画です。

未来ビジョンで描いた未来像の実現に向け、自治協議会とコミ協が協働でアクションプランに取り組んでいます。1月31日には、秋葉区文化会館で開催された「秋葉区感謝の集い」において、各コミ協から活動内容が発表されました。今号では、全11コミ協の発表内容を紹介します。

問い合わせ

地域総務課地域振興担当(☎25-5670)

荻川 コミ協

おぎっこ 団結プロジェクト

荻川地区では、未来ビジョン実行委員会の委託を受けて、地区の未来を明るく楽しく考えるボランティア団体「明樂会」が活動を行っています。今年度は、町内会や地域住民、学校、市議会議員などの協力を得ながら、わくわく広場やごみ拾いウォークなど多世代交流を目的としたイベントを開催しました。また、学生ボランティアに積極的に参加してもらう取り組みも行っています。イベント参加者は年々増加しており、今後も継続していく予定です。



阿賀浦 コミ協

第2回 阿賀満にじいろ祭り

地域のこどもたちからの「小学校でお祭りがしたい」という要望を受け、昨年度から阿賀小学校を会場に、満日コミ協と共に阿賀満にじいろ祭りを開催しています。2回目となった今回は、児童からの感想や要望を踏まえ、よりこども主体のイベントとなるよう計画しました。事業に賛同し協力してくれる保護者や地域住民も増え、こどもたちと地域住民の交流がさらに深まりました。来年度以降も継続して開催できるよう、体制づくりを進めています。



金津 コミ協

若者と創る金津の未来 ~金津PR大使の挑戦~

金津地域には、中野邸記念館や県立植物園、新津油田金津鉱場跡など多くの魅力ある観光資源がありますが、さらなる認知度向上に向け対外的な広報活動を強化する必要がありました。

そこで今年度、新潟薬科大学の学生11人を「金津PR大使」に任命し、インスタグラムでの情報発信を開始しました。学生ならではの視点や感性を生かした発信を通じて、地域の魅力をより多くの人に届けていきます。今後の金津PR大使の活躍にぜひご注目ください。



新津中央 コミ協

まちなか文化祭 inいつ鉄道商店街



にいつ鉄道商店街の各店舗を会場に、商店街と学校が連携してつくる新しい文化祭イベント「まちなか文化祭」を開催しました。生徒たちの個性あふれる作品が10店舗で展示され、店主からは、「若年層が商店街を訪れる良いきっかけになった」「作品の完成度に驚いた」といった声が聞かれました。来年度も継続して開催できるよう、引き続き取り組んでいく予定です。

新津西部 コミ協

小学生の居場所づくり



新津東部 コミ協

新津川を歩こう! & WANTED NIITSU SALMON



新津第二小学校では、地域の宝として愛されている新津川を題材に、約30年前から環境学習やサケの稚魚放流を行っています。今年度は、新津川遊歩道探検MAP作りに向けた風景写真の募集と、遡上するサケの写真や目撃情報の募集を行いました。この事業を通じて新津川の来訪者を増やし、川や地域への愛着を育むことを目的としています。今後も同校と連携を図りながら、事業を展開していきます。

小合 コミ協

こどもと一緒につくる 居場所づくりと 絆づくりの実践



小合コミ協では、居場所づくりや世代間交流、ハロウィンフェスなど、こども真ん中の事業として、こどもたちが企画・運営段階から参画しています。大人主導になりがちな地域イベントにおいて、こどもが大人と共に考え運営に関わることで、地域全体の絆を深め、事業の継続につなげることを目的としています。こどもが参画したイベントは満足度や認知度も高い傾向にあります。今後も地域のこどもと一緒に活動を続けていきます。

小須戸 コミ協

食育と世代間交流& まちづくりフォーラム



今年度は、食育と地域活性化をテーマに二つの事業を展開しました。一つ目は、コミ協が運営する移住体験農園で収穫した農産物を活用した料理教室です。親子向けに2回開催し、地域住民同士の交流を深めました。二つ目は、空き家・空き店舗の利活用を考えるフォーラムです。新津南高校生11人を含む30人が参加し、多世代の自由な発想が共有されました。得られたアイデアを生かし、来年度も活気あるまちづくりに取り組みます。

山の手 コミ協

フリースペース山の手



夏休み中のこどもの居場所づくりと公共施設の有効活用を目的に、水遊びとフリースペースの開放を行いました。野球場の散水設備を利用した水遊びでは、真夏の屋外で思いっきり体を動かし、フリースペースでは、スポーツやゲーム、工作などを用意し、普段家庭や一人ではできない遊びを自由に楽しんでもらいました。参加した親子からは大変好評でした。今後も、こども真ん中の事業を進めていきます。